

# 教育こども常任委員会管内視察報告

令和元年11月21日

■ 視察日 令和元年（2019年） 10月28日（月）

## ■ 視察委員

委員長	山口 英 治
副委員長	脇田 のりかず
委員	菅 野 雅 一
委員	田 中 あきよ
委員	花 岡 ゆたか
委員	ひぐち 光 冬
委員	町 田 博 喜
委員	吉 井 竜 二

## ■ 同行議員

福 井 浄  
山 田 ますと（あすなろ学級なるおきた・みらい）

## ■ 視察先

- ① あすなろ学級なるおきた
- ② あすなろ学級みらい
- ③ 西宮市立南甲子園小学校

## ■ 視察の目的

今年度教育こども常任委員会の施策研究テーマは、「不登校対策について」と「ICT教育について」である。テーマに基づき10月30日～11月1日の期間、他市の事例を調査するため管外視察を行うが、その前に本市としての不登校対策、ICT教育について現状を調査するため管内視察を行った。

## ■ 視察概要

### ○不登校対策について

あすなろ学級なるおきた、あすなろ学級みらいに視察に赴き、両施設の見学を行い、活動状況について説明を受け、質疑応答を行った。

### ○ICT教育について

西宮市立南甲子園小学校に視察に赴き、活動状況の説明を受け、タブレット端末等の利用状況の視察を行い、質疑応答を行った。

## ■ 意見・感想

### ○不登校対策について

令和元年10月1日よりあすなろ学級は、目的に合わせ西宮市立鳴尾北幼稚園跡に新たに「あすなろ学級なるおきた」を開設し、今までのこども未来センターのあすなろ学級は、「あすなろ学級みらい」として支援がより必要な児童・生徒を対象とした適応指導教室となった。新たな体制となり1か月弱であるため、総括するには至っていないが、あすなろ学級なるおきたの生徒達の状況を視察させていただくと、順調に推移していることが伺える。あすなろ学級みらいについては、個別対応するためにレイアウト等さらに研究すべき点があると感じた。

また、あすなろ学級に通級するための距離を考えたときに、北部での開設等、あすなろ学級を地域ごとに開設する必要がある、そのための施設確保が必要であると考えている。実際に、以前のあすなろ学級には通えていた生徒で、「なるおきた」になってから距離の問題で通えなくなった生徒がいるため、できるだけの対応をお願いしたい。

### ○ICT教育について

西宮市立南甲子園小学校では放課後学習として「子供の居場所づくり事業」を活用し、コンピュータ室（月・水）開放、図書室（月～金）開放時にICT教育を活用されている。児童が実際にタブレットを用いて活動しているところを視察させていただくと、有効的に活用されていることが伺える。しかし、本市として「子供の居場所づくり事業」は、まだ数校で実施されているだけであり、よりICT教育を進めていくには授業での活用を行っていくことが求められると考える。

また、タブレットの電子ドリルを活用して自習、予習していることは大変学習効果が高いと思われる他、教員も子供達それぞれの習熟度に合わせて指導でき、また採点や成績管理等校務の負担軽減にもつながる。現在はまだ他校での導入は進んでいないとのことであるが、来年4月開校の西宮浜義務教育学校も含めて、41校全てにおいて電子ドリルの活用を早期に開始できるよう努めてもらいたい。

(あすなろ学級なるおきた)



(あすなろ学級みらい)



(西宮市立南甲子園小学校)

